

チェロ・コンGRESS・イン・ジャパン 2011を振り返って

～ 堤剛会長インタビュー ～

Q 1 第1回目となるチェロ・コンGRESS・イン・ジャパン2011、いかがだったでしょうか。

堤：大成功と言いたいですね。スズキ・メソードの子どもたちを始めとする小さなお子さん達からご年配の方が一箇所に集まって、チェロ三昧の3日間を送れたことは大変有意義でした。『人の輪』がだんだん広がっていき、人生の楽しみを分かち合えたことに大きな意味がありましたね。チェロを用いた芸術文化を通して人との輪ができ、究極的には、世界平和に繋がっていくのだと感じました。お客様やボランティアの方々にも深く感謝申し上げます。

Q 2 先生がおっしゃる「大成功」の理由はどこにあったと考えられますか？

堤：第一に皆様の「チェロが大好き」という思いが根底にあったのだと思います。さらに、実行委員会を始めとして、様々な方の大変なお力添えがあってこそ成功したのだと思います。チェロの持つ無限の可能性がプログラムを通して示すことができたのではないのでしょうか。チェロを通じて色々な形で交流できた、このことは人間社会にとっても大切なことだと思います。

Q 3 コンGRESSを通じて、特に印象に残った場面はありますか？

堤：年齢やチェロの経験に関係なく多くの人同士が、親しくなって、自分の技術を向上させるために関係づくりをし、それがやがて音楽を通して社会に貢献できるという雰囲気が見られたことですね。180人も人が集まって一度に演奏できたこともすごいことですし、その体験が感動そのものでした。

Q 4 アンサンブル・コンサートは、お祭りの要素もありますが、ただ単に「お祭り」である以上の演奏だったと感じました。演奏に参加されてどのように感じられましたか？

堤：私自身、お祭りの要素というのは大事だと思っています。お祭りという心がわくわくし、チェロをやっている人が集まって『何かを記念する』『セレブレーション』という意味を持って集まる、その雰囲気が私はすごく好きです。今回のコンGRESSの場合は、山本祐ノ介さんという、素晴らしいチェリストでもある指揮者がいらっ



しゃって、お祭りの要素をうまくまとめて下さり、芸術的レベルまで高めて下さったのだと思います。

Q 5 お祭りの雰囲気は舞台の上からお客様にも伝わっていましたね。

堤：そうですね。本当にお客様が喜んで下さいました。チェロの演奏に対して沢山のコメントを頂き、チェロの良さが伝わって良かったです。

Q 6 チェロ協会にとって、この規模のイベントを単独で開催するのは初の試みでした。チェロ協会にとっては、大きな一歩になったと思いますがいかがでしょうか？

堤：チェロ協会が始まって14年経ちますが、親睦団体という形でスタートし、自分たちの意志で本当に意義のあるイベントをこれだけのスケールでできるようになるとは、思いもかけませんでした。チェロコンGRESSを企画し成功できたということは、ある意味私達にとって自信となりました。やはりこのようなことをやることによって、チェロをお好きな方だけではなく、今実際にチェロを勉強している学生にとっても、お稽古事としてやっている方にとっても、大きな刺激になったのではないのでしょうか。すばらしい演奏を通して、演奏を聞いて下さった方が少しでもチェロをやりたい、またはご自分のお子様にやらせたいという気持ちになって動き、繋がっていくことを密かに期待しています。

Q 7 コンGRESSを開催した意義について教えてくださいませんか？

堤：演奏者にとっては、オーケストラに入っていない限りサントリーホールの舞台に立つという機会はなかなかないと思うので、それ一つをとっても皆さん大変感激していらっしやいました。チェロ協会としては出来るだけ色々な形で、皆様がチェロを楽しむだけでなく、様々な機会をつくっていきたくと思っています。皆様が音楽を通して一つになって、意義のあるものを創り挙げていくことによって、ある意味でコミュニティーといものが生まれると思います。それがやがて集まる人の精神的な豊かさとなり、人間社会の色々な意味での潤いを得られ、

ますます人生や生活そのものに価値が生まれるのではないのでしょうか。

Q 8 コンgressのちょうど1ヶ月後、3月11日に東日本大震災が発生しました。今も原発事故などによる影響が続いていますが、何か考えられる事がありますか？

堤：震災が起きたことで逆に音楽を届ける機会が多く与えられました。音楽は人々にとって癒しとなり、苦しい現実を少しでも忘れさせてくれる、和らげてくれるなどの、音楽が持つ潜在的な力を持っています。私たちは音楽を創造することを掻き立てられ、また音楽の力を再認識できる機会となりました。音楽のすばらしさ、力を再認識できたことで、音楽を選択した自身の道を改めて見直し、社会貢献できることを認識できたのではないのでしょうか。

Q 9 今回は、in Japanとして開催しましたが、今後の展開について、どのようにお考えでしょうか。

堤：チェロをやっている方々は『仲間意識が強い』ということを感じています。その仲間意識が人の輪として繋がる、どんどん広がっていく可能性があります。実際にチェロを弾く、色々な形でチェロを教える、アンサンブルを弾くことによって、私たちの持っているメッセージが広がり、最終的には世界全体に貢献出来るような大きなことが達成できるのだと思います。今回のコンgressは、in Japanでしたけど、in Asia、of the Worldまで進めて、広げていきたいです。このような輪が広がることによって、「世界平和への貢献」に繋がるのでは、と思っています。

評議委員会開催報告



2011年7月17日（日）に「評議委員会」が開催され、以下の内容で承認されましたのでご報告いたします。

*

◇開催日時：2011年7月17日（日） 18:00～20:00

◇会場：サントリーホール・M2会議室

◇出席者（12名・敬称略）：

（会長）堤 剛

（副会長）堀 了介

（評議員）倉田澄子、毛利伯郎、荻田雅治、河野文昭、児玉真、石島栄一

（会 員）渡辺 亮、

（事務局）飯田芳憲、八反田弘、東 英絵

【収入の部】

日本チェロ協会 2010年度決算報告

2011年3月31日

（単位：円）

項 目	2010年度予算額	2010年度決算額	予実差異	摘 要
会 費	1,400,000	1,466,000	66,000	賛助（法人 360,000<4社>）（個人 10,000×1）一般 109,200（182名×6,000） 学生 92,000（31名×3,000-1000）入会金 67,000（67名×1,000） 過去未納分66,000 <- 仮受221000 09年度計上済み>
入 場 券	50,000	13,000	-37,000	チェロサロン6月：6名、マスタークラス：7名
チェロコンgress	9,480,000	11,913,359	2,433,359	
雑 収 入	-	2,932	2,932	受取利息等
仮 受 収 入	-	53,000	53,000	
小 計	10,930,000	13,448,291	2,518,291	
前 年 度 繰 越 金	3,316,781	3,316,781	-	
計	14,246,781	16,765,072	2,518,291	

【支出の部】

（単位：円）

項 目	2010年度予算額	2010年度決算額	予実差異	摘 要
会 報 作 成 費	400,000	262,500	-137,500	会報33、34号
通 信 費	120,000	121,806	1,806	会員証、会報、イベントちらし等発送
便箋・封筒等の制作費	21,000	84,000	63,000	封筒作成費
総会・評議委員会経費	200,000	48,600	-151,400	評議委員会交通費、総会交通費
事 務 諸 経 費	20,000	11,116	-8,884	ちらし用紙、振込手数料等
会 員 証 作 成 費	3,000	1,714	-1,286	
事 業 費	400,000	303,960	-96,040	チェロサロン、電話機、パソコン、弥生会計、交通費
ホームページ運営費	300,000	252,000	-48,000	維持費
予 備 費	100,000	-	-100,000	
チェロコンgress繰入金	315,000	933,803	618,803	
チェロコンgress	9,277,000	11,913,359	2,636,359	
小 計	11,156,000	13,932,858	2,776,858	
次 年 度 へ の 繰 越 し	3,090,781	2,832,214	-258,567	
計	14,246,781	16,765,072	2,518,291	

◇議 題：

1. 2010年度活動報告
2. 2010年度決算・監査報告
3. 2011年度活動計画（案）
4. 2011年度予算（案）
5. チェロコンGRES・イン・ジャパン 2011 について
6. 第2回「チェロの日」について
7. その他

◆2010年度活動報告

○会報発行

年2回発行（7月31日第33号、1月31日第34号）

○ホームページ運営

コンサート情報 18件掲載

イベント情報 6件掲載

チェロ協会主催イベント 2件

○チェロサロン開催

年1回開催

・2010年6月5日（土）岩崎 洸先生

於：サントリーホール・リハーサル室

参加人数：31名〔会員25名 一般6名〕

（クリニック参加者3名、アンサンブル参加者19名、聴講のみ12名）

○マスタークラス開催

年1回開催

・2011年2月13日（日）クライヴ・グリーンズミス先生

於：サントリーホール・ブルーローズ

お客様：99名

○会員総数 2011年3月現在 264名

◆2010年度会計報告（別表添付）

◆2011年度活動予定

○評議委員会開催

評議委員会年2回開催する。

○会報発行

年3回発行予定（35号：4月、36号：8月、37号：2月）

○ホームページ運営

・コンサート情報：会員の方からの情報、評議委員の先生方のコンサート情報、

・著作物情報の掲載

○チェロサロン開催

年2～3回開催（講師・開催日程・開催地 未定）

○マスタークラス

年1回開催（講師・開催日程・開催地 未定）

◆2011年度予算（別表添付）



【収入の部】

日本チェロ協会 2011年度予算

2011年3月31日

（単位：円）

項 目	2010年度決算額	2011年度予算額	摘 要
会 費	1,466,000	1,400,000	
入 場 券	13,000	50,000	マスタークラス、チェロサロン
チェロコンGRES	11,913,359	-	
チェロの日	-	3,200,000	
雑 収 入	2,932	-	受取利息等
仮 受 収 入	53,000	-	
小 計	13,448,291	4,650,000	
前 年 度 繰 越 金	3,316,781	3,316,781	
計	16,765,072	7,966,781	

【支出の部】

（単位：円）

項 目	2010年度決算額	2011年度予算額	摘 要
会 報 作 成 費	262,500	400,000	131,250円×3回（第35～37号）
通 信 費	121,806	120,000	会員証、会報、イベントちらし等発送
便箋・封筒等の制作費	84,000	21,000	
総会・評議委員会経費	48,600	200,000	評議委員会交通費等
事 務 諸 経 費	11,116	20,000	
会 員 証 作 成 費	1,714	3,000	会員証台紙
事 業 費	303,960	400,000	マスタークラス1回：200,000／チェロサロン2～3回：200,000
ホームページ運営費	252,000	300,000	メンテナンス21,000円×12ヶ月／コンテンツ作成 50,000円
予 備 費	-	100,000	
チェロコンGRES繰入金	933,803	-	
チェロコンGRES	11,913,359	-	
第2回チェロの日	-	2,497,664	
小 計	13,932,858	4,061,664	
次 年 度 へ の 繰 越 し	2,832,214	3,905,117	
計	16,765,072	7,966,781	

第2回「チェロの日」開催のお知らせ

2012年2月12日(土・祝)・12日(日)、第2回「チェロの日」を開催します。一日目は、コンサートを2回開催し終演後に懇親会、二日目は参加型のプログラム構成になる予定です。プログラムの詳細・お申込方法などは別途ご案内をお送り致しますが、ぜひ、今からスケジュールをあけて頂けると幸いです。ご参加を心よりお待ちしております。

◇日 時：2012年2月11日(土・祝)・2月12日(日) 予定
◇場 所：サントリーホール・ブルーローズ

次回“チェロサロン”開催のお知らせ

2011年10月10日(月・祝)、日本チェロ協会副会長の堀了介先生を講師にお迎えし、チェロサロンの開催いたします。「チェロサロン」はアマチュアの方を対象としたイベントです。これまでのチェロサロンに参加されている方も初めての方も、この機会にぜひクリニック(アマチュアの方への公開レッスン)とアンサンブルを併せて楽しみませんか。どうぞお気軽にお越し下さい。詳細・お申込方法については、ホームページおよび別紙チラシをご覧ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

◇日 時：2011年10月10日(月・祝) 14:00~16:00予定
◇場 所：サントリーホール・リハーサル室
◇主 宰：堀 了介 先生
◇入場料：会員=無料 非会員=1,000円
(会員以外の方もお問い合わせのうえお越し下さい)



事務局より

○事務局変更のお知らせ

8月中旬より東 英絵に代わり、佃 香菜子が専任として事務局を担当します。それに伴い連絡先メールアドレス

スも変更になりましたのでお知らせ致します。
メールアドレス：Kanako_Tsukuda@skal.suntory.co.jp
どうぞよろしくお願い致します。

○会員更新のお願い

4月、7月に会員の皆様に更新の手続きをご案内させて頂きました。

引き続き、会員更新を受け付けておりますので、是非本年度も会員継続をお願い致します。

尚、ご入金にも関わらず会員証が届いていない場合はご一報下さいますようお願い申し上げます。

○HP掲載情報募集

会員のみなさまのコンサート情報や著作情報など、チェロ協会HPに掲載希望の方はメールまたはお電話でお問い合わせください。



編集後記

事務局を担当させて頂いてから約4年間となりましたが、時の経つあまりの早さに驚いております。今まで様々なイベントなどで会員の皆さまに大変お世話になり、改めまして感謝申し上げます。多くのチェリストの方々との出会いは、またとない、とても貴重な体験でした。
今後も何かの形でお手伝いできればと思いますが、まずは、日本チェロ協会のますますの発展をお祈り申し上げます。どうもありがとうございました。(東)

8月より事務局を担当致します佃香菜子と申します。日本チェロ協会がより発展しますよう精進して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(佃)

日本チェロ協会会報(JCS NEWS)第36号

2011年8月31日発行

発行：日本チェロ協会

東京都港区赤坂1-13-1 サントリーホール内
電話 03-3505-1991 FAX 03-3505-1007

発行人：堤 剛

編集：日本チェロ協会事務局

編集協力：リュウカンパニー